

平成 29 年度第 3 回鎌倉市食育推進会議 会議録

日 時：平成 30 年 1 月 26 日（金）18 時 30 分～20 時 00 分

会 場：鎌倉市役所本庁舎 823 会議室

出席者：＜委 員＞中村会長、中谷副会長、有村委員、安齊委員、富田委員、
牧田委員、横塚委員

＜職員等＞食育連絡協議会（庁内）

福祉総務課長、産業振興課長、こどもみらい課担当課長、
高齢者いきいき課担当課長、

ごみ減量対策課担当課長、

教育総務課担当課長、教育指導課長、教育センター所長
小学校代表校長、中学校代表校長

事務局（市民健康課）

石黒課長、河合課長補佐、三島係長、長谷川職員、浦山職員、
齋藤職員

傍聴者：無

配付資料：

【資料 1】 第 3 期鎌倉食育推進計画素案

【資料 2】 指標一覧

【資料 3】 市民からの第 3 期食育推進計画（案）へのご意見

【資料 4】 庁内からの第 3 期食育推進計画（案）へのご意見

【資料 5】 計画（案）28 ページ修正案

【資料 6】 計画（案）30 ページ修正案

【資料 7】 委員コメント欄

【追加資料】 未病センターかまくらのチラシ、食育推進計画の表紙

■開会

石黒課長から委員 11 人のうち出席者は 7 人で過半数を超えているため、本推進会議条例施行規則第 3 条第 2 項の規定により、会議は成立している旨、説明がなされた。石橋委員からは欠席連絡を受けたこと、本日の傍聴希望者は無い旨の報告がされた。

中村会長 挨拶

高齢者が痩せるのが良くないということで、近頃急によく食べるようにと
言われている。後期高齢者とされる 75 歳をピークに急激に変化するよう
で、急速な体重減少の傾向が高頻度にある。中には痩せずに元気な高
齢者もあり、この年頃では個人差もある。今まで 75 歳前後に対策を
すべきといわれていた事が、早期予防対策をした方が良いという話
がある。最近ある雑誌では、何歳頃から対策を講じたら良いかを
話題とし、生活習慣病予防の時と同じく早期予防対策が必要とされ
ている。フレイル対策も 75 歳から始めるのでは遅いとも言われてい
る。

75 歳を過ぎるとかなり食べても太れない、食欲が急に落ち始め、食
事が美味しくない等、体重減少が始まると急激に進むために対応が遅
れがちとなる。ある論文によるとフレイル対策の予防対策として 65
歳前後から取り組むべき、とある。

65 歳では過栄養と低栄養が混在してるため、難しい。60 歳過ぎ
て体重が減り始め、神経痛の傾向がある人はしっかり食べなければ
ならない。今までは子どもやメタボリックシンドロームに対して集
中的に行っていたが、これからは高齢者への食育というものが、
健康寿命を維持するのに大事であると考え。早め始めることが
大切であり、高齢者に対する食育は、子どもの食育より難しいか
もしれない。

■議事

事務局から、以下（１）～（３）の順に説明がなされた。

（１）配布資料の確認

事務局から、配付資料【資料 1】～【資料 7】及び追加資料の
確認がされた。

（２）前回迄の会議内容の振返り

前回の第 2 回の会議において、第 3 期食育推進計画素案の段階
の内容をご確認いただいた。

【資料 2】～【資料 4】の変更について説明がされた。

【質疑等】

中村会長

表紙の色は鎌倉の色か。

事務局

特に鎌倉の色ではないが、目を引く色にした。

(3) 第3期鎌倉食育推進計画（最終案）について

本会議これまでの修正箇所の確認をした。

- ・【資料4】NO. 1～8を修正した。
- ・パブリックコメント及び庁内からの意見を踏まえ、計画28ページに【資料5】のコラム「どんな“食のボランティア団体”があるの」の部分を追加した。
- ・【資料6】計画30ページ、コラム12の中参照。

平成30年1月22日(月)に、未病センターかまくらが正式に開所した。

前回の資料で、未病センターについて記載していたが、正式名称が未病センターかまくらとなったため、記載を修正した。場所は、鎌倉市中央図書館隣り福祉センター1階で市役所から徒歩5分程である。未病センターの大きな役割としては3つある。具体的に、健康状態をチェックできる機械があること、専門職に健康のことを気軽に相談ができるということ及び未病や健康づくりに関する情報がもらえるということ。

未病センターかまくらでは、身長・体組成測定、骨密度測定、血管年齢・ストレス測定、肺年齢測定、貧血測定及び血圧測定ができる6つの計測機器があり、健康状態を見える化できる。保健師が常駐しており、測定結果に基づくアドバイスや未病や健康づくりに関する相談ができる。また、未病や健康づくりに関する情報提供を受けることができる。栄養士も週2回ほど配置している。フードモデル（食品サンプル）を使った食事の啓発等を行っている。平日10時～15時まで、どなたでも無料でご利用可能でこれらの写真を追加する予定である。

- ・最後に、委員各位の食育に対する考えや食育推進のためのご尽力を、多くの方に伝わるようにとの思いで【資料7】を追加した。文字数調整のため、内容を変えない範囲内で文章変更したため、委員各位に対して各自内容の再確認を依頼した。

【質疑等】

中村会長

ボランティア団体は具体的な団体名を載せるのか。数はどのくらいか。

事務局 浦山

団体数はかなり多いので、どこまで載せるかが懸念となる。

中村会長

数が多いため、全て掲載するのは難しいと感じる。

牧田委員

28 ページのコラム 11 “地元の味” をさがしてみよう箇所を生しらすの表記について、本日河原委員欠席のため確認できないが、ここでの生しらすの表記に疑問がある。

生しらすは去年頃より漁獲量が減っている。ノロウイルスによる食中毒の影響の観点から、強制では無いが生しらすの提供を控えるようにとの話が保健所からあったと聞いている。鎌倉アカモク及びワカメなど、鎌倉の海産物はいろいろあることを広めていただきたい。

中村会長

海産物は他にもいろいろある。かまくら野菜も、PR等を積極的に行うことで有名になった。

最近、アカモクの機能性を研究している人がいるようだ。

有村委員

鎌倉市の小学校給食でも、アカモクを使っている。

牧田委員

先生に調べていただいて、鎌倉で捕れたアカモクは栄養的に優位性があるというデータが発表されたと聞いた。

中村会長

私も何かの学会で、アカモク機能性がよい聞いた。

横塚委員

相模湾が汚れているらしいから生しらすの漁獲量が減ったということか。

牧田委員

汚れているから減ったのではないと思う。

横塚委員

数年前の稲村ガ崎の配管が壊れて汚水した問題が影響しているのか。

牧田委員

昨年度、そのようなことがあったが、関係していないと思う。別件になるが、近辺の飲食店で生しらすによるノロウィルスの食中毒があって、提供の自粛の通達が出たことがあった。

横塚委員

そのような通達があった時は、幅広く広報して欲しい。
鎌倉イコール生しらす、という考え方は確かに抵抗がある。もっといろいろな産物を紹介してほしい。

有村委員

生しらすのノロウィルスの関係など食品衛生課が所管していると思う。海産物の住む海の場合によってノロウィルスに感染する菌が付着したりするような話は聞いているので、自分は担当ではないので、食品衛生課で詳しい情報を調べて確認し、鎌倉市が必要であれば情報提供させていただく。

牧田委員

しらすは禁漁期間がある。

中谷委員

その禁漁期間ワカメを栽培している。上手いバランスになっている。

牧田委員

今年は海流の関係で、静岡から東はどこも漁獲量が減っているそう。

石黒課長

横須賀でよく捕れるとされる佐島でも減っていると聞いた。

河原委員と相談して、生しらすを鎌倉エビ、アカモク、わかめなど何か他の産物に置き換えるよう対応する。

中村会長

少ない物を食べることを推奨しなくてもいいと思う。

人間は、食べられなくなると食べたくになるので、しらすが第二のうなぎになる可能性はある。

中村会長

ここにサツマイモが出ているが、鎌倉ではサツマイモが特に美味しいのか。

事務局

サツマイモは旬の食材の例として記載している。

安齋委員

サツマイモは火山灰土など赤土で作るときれいにできる。

■事務局よりの案内

本日の会議での意見をもとに事務局で修正を行い、後日各委員へ郵送にて送付。その後、市長決裁を経て施行となる。

出来次第に配布していくほか、ホームページに掲載したいと思う。

次回会議は平成 30 年 7 月ごろに開催予定である。

日程は後日連絡する。

本計画完成後、具体的な取組方の検討に入る。

まずはこの計画を使い、市民のみなさんが自分の食や健康について振り返る、きっかけづくりを進める。今までも実施してきたことだが、第 3 期鎌倉食育推進計画が出来上がることにより、これを軸として伝える事ができると考えている。きっかけづくりは行政だけでなく、いろいろな団体や関係機関の方々にもご協力いただく必要があるので、本計画を大いに活用していただきたい。

今後も委員各位からもアイデアを出していただきながら、事業を展開していきたい。事務局でも新年度事業を整理し、みなさんのご意見を取り入れて行きたく、また改めて相談させていただく。

【質疑等】

石黒課長

先程の 28 ページのコラム 11 の生しらすの件、河原委員と相談させていただいて、最終的には会長と相談して調整させていただくという事でよろしいですか。

中村会長

生しらすの漁獲量減は、今年特別に捕りすぎた等の原因があるのか。

漁獲量が増えて余っているなら、積極的に宣伝していくことが必要になると思う。サザエはよく捕れるのか。

牧田委員

サザエは、よく捕れるそう。今年タコも少し捕れていないと言われたが、サザエは使って欲しいと言われた。

中村会長

サザエはよく捕れるのか。

牧田委員

年中捕れると聞きます。

■閉会

中村会長

閉会の挨拶